2017 年 10 月 10 日　発行

公益社団法人 福井県理学療法士会

News Letter

No.180

発行人：福井県理学療法士会
〒910-0855
福井市西方 1-2-11　嶋田病院
会　長：四谷　昌嗣
ニュース編集部：辻　大樹
会員数：919 名
施設数：163 施設
（平成 29 年 5 月 31 日現在）

地域で働く目標

ほっとリハビリシステムズ　リハビリテーションサービスグループ越前
村中　徳市

理学療法士になって，早いもので丸 24 年が経過した．いつまでも新人のつもりで働いてきたが，そうも言ってられない歳となった．

卒業してからすぐに病院勤務を 6 年間させて頂き，退院と入院を繰り返す患者様を多く見てきた．当時は訪問にてリハビリを行う機会が少なく，せっかく病院で獲得した機能を在宅で活かす事が出来ず，廃用性症候群や疼痛悪化，転倒等々にて，また入院して来られるという現状だった．その中で，在宅で「引く次ぐ為のリハビリ」を行いたいという気持ちが芽生え，地域や訪問に興味を持ち，「病院」から「地域」での役割に働く場を変えた．

期待いっぱいで仕事場を変えたものの，たくさんの在宅でのリハビリの難しさを知る事になった．しかしその反面，実際に生活している在宅でのリハビリは，ダイレクトに結果につながる事も多く，本人の生活改善やリスクの軽減，家族の負担等の変化を見る事が出来た．

在宅で働く中で，遺伝性が強い難病の利用者様に「リハビリを行う意味が分からない．少し長く生きれたところで…」との投げかけがあった．自分たちは何の為にリハビリをしているのだろうかと考えた時に，人生の「長さ」だけではなく，むしろ人生の「幅」や「質」を変えていくのが自分たちの仕事であると実感した．

その方は昨年ご他界されてしまったが，目標とした夕日を見ながらお風呂に入る事や，目標だったハワイ旅行にまで車いす状態にて行く事が出来た．

様々なかけがえの無い活動を行う中で感じた事は，自分一人の力はちっぽけなものであるという事だった．一人の力では出来なかった目標が，チームとして連携を図り達成する事が出来た事，また大きく可能性を広げる事が出来る事も経験した．

今，仕事を行う中でのテーマは「生ききる」という事．判断が難しく，また様々な捉え方がある言葉ではあると思う．

出来るだけ利用者様やその家族の方の人生に触れながら，また住み慣れた地域にて，より具体的な目標を達成させながら，「生ききった」と最後に少しでも思って頂けるような活動を理学療法士として行っていきたい．

福井県理学療法士会

施 設 紹 介

くすのき通所リハビリテーション

理学療法士　山下　悠也

平成 24 年 5 月に開設して，現在 6 年目を迎えました．
“いつまでも元気に　慣れ親しんだ場所で　生活して頂きたい”こういった思いからスタートした当施設は現在，午前の部・午後の部の 2 パートに分け，それぞれ 10 名程の利用者様とリハビリを行っています．

自宅での生活を確認できるよう理学療法士や作業療法士が送迎に出て，利用者様の生活状況やご家族の声などを聴き，一人ひとりの生活に添ったリハビリを提供しています．また利用者様の運動意欲を高めるために，自主性で機械等の運動や，棒体操，歩行練習などを取り組んで頂いています．

また毎月，季節に合わせた作品作りを利用者様，職員一同で取り組んでいます．作品作りを通して，利用者様同士のコミュニケーションを図ったり，細かい作業を行い，認知症予防にも努めています．

カラオケの機械もあり，歌を歌ったり，音楽に合わせ集団で体操を行ったり，和気あいあいとリハビリや運動を行っています．

“いつまでも元気に　慣れ親しんだ場所で　生活して頂きたい”をモットーに利用者様に適切なサービスを提供できるよう職員一同日々精進してまいります．

たけいんき

「くすりと健康フェア」に参加して

至捷会　木村病院　柴田　恵輔

9 月 23 日に行われた福井県薬剤師会主催の「くすりと健康フェア」の運動相談ブースに福井県理学療法士会広報部から相談員として協力しました．このイベントは薬剤師会が患者のための薬局ビジョン推進事業イベントとして行っているもので，メインは薬剤師による薬と健康の相談会や，ドーピングゼロを目指した企画が主ですが，コラボ企画として管理栄養士とわれわれ理学療法士が呼ばれました．他職種主催のイベントに呼ばれることはこれまでにほとんどなく，そこに選んでもらえたことは光栄なことかと思います．

このイベントには元全日本バレーボール代表の清水邦広選手のトークライブとサイン・撮影会も行われるとあって開催前からとんでもない人数の人が行列を作っており，盛り上がりを見せていました．開会とともに会場は人でいっぱいになり，われわれの運動相談のブースにもすぐに相談の方が入ってこられました．普段行っている理学療法展や健康フェアなどでは比較的高齢の方からの身体の痛みに関することや健康維持のための相談をされることが多いのですが，この日には清水選手目当てのバレーボール少年からの「ジャンプ力を高めるにはどうしたらよいか？」という質問や，清水選手ファンの若い女性からの「足のむくみをどうしたらよいか？」などのいつもとは違った質問があり説明にも気合が入りました．

イベントにはたくさんの人が来られて大盛況でしたが，われわれ理学療法士の立場としてはこれだけたくさんの方々が参加していることをうらやましくも感じ，参考にすべきこともあると思いました．たくさんの人に薬や健康に興味を持ってもらうための導入として有名人を呼んだり，展示も映像機器を効果的に使ったり，うまくコラボレーションができていると感じました．今後，理学療法士が行うイベントでもたくさんの方々に興味を持ってもらえるように工夫と努力が必要です．理学療法士会のイベントでこんなことをしたいと思うことがあれば広報部までご連絡くださるとうれしいです．

地域支援部主催　第 1 回人材育成研修会を終えて

嶋田病院　道岸　沙和

今回の講義の冒頭に紹介された“理学療法士はコミュニケーションが下手くそだ”“指導ができない”というワードは今の自分の悩みそのものでした．在宅生活で介護の中心となるのは，リハビリスタッフより，介護士や家族が圧倒的に多いです．今年から，デイサービスで働くことになった私は，今まで以上に介助方法の相談，指導の依頼を受けることが増え，自分の引き出しの少なさを痛感していました．そんな時に，この勉強会のテーマを聞き，参加させていただきました．

実技を中心とした内容で，介護を提供する側，受ける側を体験することで，双方が楽な方法を明確に知ることができました．専門用語での表現を上手く日常用語に置き換えながら，わかりやすく具体的に説明する練習を行い誰にでも伝わる指導を学ぶ事が出来ました．また，知識や技術で解決するだけではなく，介護初心者の方でも負担にならない福祉用具の活用も大変重要だと感じました．“介護は共通”というワードの紹介にもありましたが，皆ができる介護方法を提案，指導することが，在宅リハビリの分野にいる自分の役割だと思いました．

今回の勉強会で得た技術，知識をまずは自分が身につけること，そして正しい情報として他職種および家族の方へ伝達していきたいです．“介護=辛い”というイメージの軽減と，自宅で家族を支える方たちの助力になれるよう日々の業務を務めたいと思います．

Professional ~Style of works~

Profile

・氏名：豊田　泰美
・所属先：福井赤十字病院　リハビリテーション科
・修得資格：認定理学療法士（呼吸）
・経験年数：26
・出身校：福井医療技術専門学校
・その他の資格：3 学会合同呼吸認定士，
呼吸ケア指導士，介護支援専門員
公認スポーツ指導員（バレーボール）

豊田先生は右から 2 番目

Questions

Q1　この資格を**取得しようと思った理由**を教えて下さい．

入職以来，呼吸器疾患を担当させていただくことが多く，PTとしての残り10年余りをどのように進んでいくのかを考えるようになり，受験しました．

Q2　この資格に**関わる魅力**を教えて下さい．

資格取得前よりも臨床において専門的に取り組むことが多くなり，認定看護師と連携することで，関わりもより強くなり，患者への治療が継続して行えるようになってきています．

Q3　この資格を**取得して良かったと思うこと**を教えて下さい．

現段階では，当院での待遇はかわっていません．しかし院内広報誌において認定 PT が取り上げられ，周知されたことが良かったことです．

Q4　この資格を**取得するために大変だった事など**を教えて下さい．

子供の受験と重なったことで精神的，体力的に大変で，県立図書館にこもり，土，日に集中して勉強するなど，家庭と取得のための時間を作ることの両立が大変でした．

Q5　今後のセラピスト活動に対する計画や目標，希望などを教えて下さい．

これからも『豊田さん，お願い，なんとかして』って言っていただけるよう，求められる PT を目指し，専門的にやっていきたいと思っています．
また女性として，これからもいろんなライフステージが待っていると思いますが，自己研鑽を忘れることなく頑張ります．

2017 年 10 月 10 日

会員各位

第 33 回東海北陸理学療法学術大会
大　会　長　　嶋田誠一郎
準備委員長　　四谷　昌嗣

第 33 回東海北陸理学療法学術大会
事前参加登録のお願い

謹啓
時下，ますますご清栄のこととお慶び申し上げます.
日頃より当大会活動にご協力いただき感謝しております.
さて，本大会開催に際し，参加ご予定の方（当日お手伝いにご参加下さる方も含みます）是非事前参加登録にご協力をお願いたします.
事前登録締め切りは，楽天カードおよび現金振込は 10 月 22 日まで，
口座振替は 10 月 15 日までです.

謹白

記

1. 学術大会名　　第 33 回東海北陸理学療法学術大会
2. 学会日時　　平成 29 年 11 月 11 日（土），12 日（日）
3. 会　場　　AOSSA（アオッサ）
福井県県民ホール（8 階）
福井市地域交流プラザ（6 階）
ハピリン
ハピリンホール（3 階）

【事務局】
公立丹南病院　リハビリテーション室内
大会準備委員長　四谷　昌嗣
〒916－8515 福井県鯖江市三六町 1－2－31
TEL：0778-51-2260
E-mail：thpt33fukui@gmail.com

第33回
東海北陸
理学療法学術大会
テーマ
理学療法士としてのresponsibility
日時
2017年11月11日(土)～12日(日)
会場
AOSSA［福井県福井市手寄１丁目４－1］
ハピリン［福井県福井市中央１丁目２－1］
大会長　嶋田 誠一郎［福井大学医学部附属病院］
主　催　公益社団法人　日本理学療法士協会
東海北陸ブロック理学療法士協議会
担　当　公益社団法人　福井県理学療法士会
大会HP　http://thpt2017.com/index.html
E-mail　thpt33fukui@gmail.com
事務局
公立丹南病院 リハビリテーション室　四谷 昌嗣
〒916-8515 福井県鯖江市三六町1-2-31
TEL 0778-51-2260
後援

2017 年 10 月 10 日

第22回福井県理学療法学術大会開催について

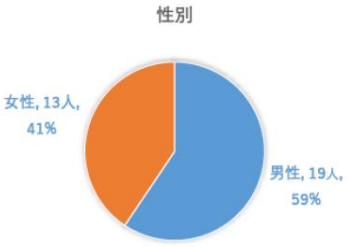
次回の福井県理学療法学術大会より，開催日を5月とし，総会と合わせて行うことになりました．それに伴い，演題募集期間も変更になります．第22回福井県理学療法学術大会は下記の日程で行う予定でありますので，演題登録や，当日の学会参加をよろしくお願いいたします．

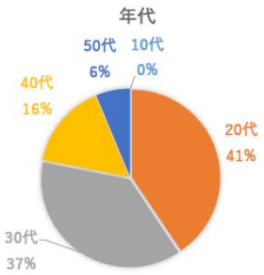
第22回福井県理学療法学術大会
日程　平成30年5月開催予定
大会長　小澤純一先生（福井県立病院）
演題募集期間　平成29年12月～平成30年1月末（予定）

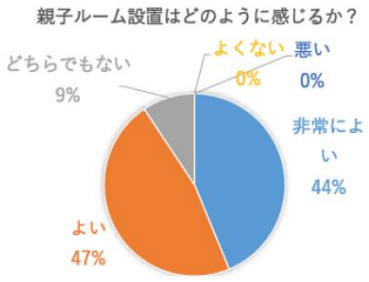
第21回福井県理学療法学術大会への参加の御礼と親子ルームアンケートのご報告

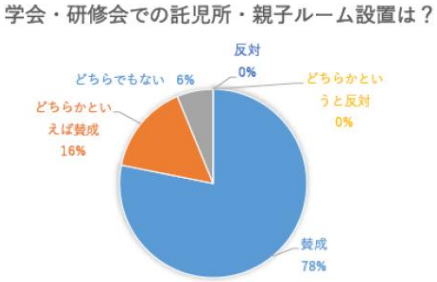
第21回福井県理学療法学術大会は平成29年3月12日に開催致しました．駐車場が狭く，皆様にはご迷惑をおかけしましたが，学会の内容は非常に濃かったのではないでしょうか．ご参加された先生方，ありがとうございました．また，今回，第一会場にて親子ルームを設けました．それに関して，学会受付にてアンケートをお願いしましたので，以下にご報告いたします．

アンケート実施日平成29年3月12日
アンケート回収数32名（親子ルーム使用4家族）



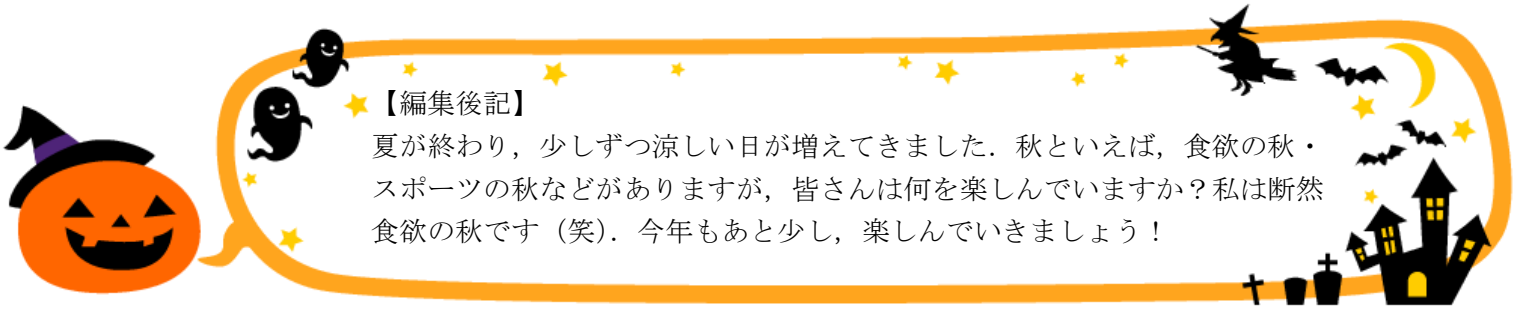






親子ルームを使用された方の声

- 子どもを連れての学会参加は目立って恥ずかしかったですが，受付から親子ルームまでが近く，あまり顔を合わせず参加できてよかった．
- 子どもが退屈しないよう絵本などを持ってこればよかった．
- 親子1組ごとに1部屋設けてあったのが良かった．子供が多少ぐずっても気にせずシンポジウムに集中できたし，子どもと一緒に過ごせて安心でした．
- 長年学会に参加できていませんでしたが，今回の親子ルームの設置のおかげで参加することができました．ぜひ続けてほしいです．
- 学会に参加できたことで他施設の理学療法士と顔を合わせて話すことができ，明日からまた頑張れる励みになりました．



【編集後記】

夏が終わり，少しずつ涼しい日が増えてきました．秋といえば，食欲の秋・スポーツの秋などがありますが，皆さんは何を楽しんでいますか？私は断然食欲の秋です（笑）．今年もあと少し，楽しんでいきましょう！

賛助会員

ミナト医科学株式会社 金沢営業所 石川県金沢市金市町二 18 番 1	ハシノメディカル 小浜市千種 1－10－18
ツールケア 福井県福井市加茂河原 2 丁目 13-32-2B	有限会社 奥義肢製作所 福井県福井市二の宮 2 丁目
株式会社ミタス 福井市問屋町 4 丁目 901 番地	
順不同	